

## Atosと開成 ICT技術テーマにセミナー

### 測量機器やICT建機など紹介

土木工事業のAtos(株) (埼玉県、渡邊直也社長)と建機レンタルの(株)開成(村橋隆幸社長)は9月5日、ICT技術の総合提案をテーマとしたCPDSセミナーを沖縄市の沖縄市産業交流センターで開催。県内建設業の現場担当者らに対して、3次元測量機器やICT土工のシステム、対応重機などを紹介した。

Atosは、土木工事業のほかに測量、ソリューション開発・販売・レンタル事業などを展開し、昨年7月には沖縄市高原に琉球営業所を開所している。セミナーでは琉球営業所の知念正也氏が登壇し、同社が開発したハンディスキャナ「Generation Survey One (GS-1)」の性能や導入事例などについて解説した。

また、知念氏は同社が実施しているICT実習カリキュラムも紹介した。福島県白河市の同社訓練フィールドで3次元測量や3D設計データ作成、重機操作訓練、3次元測量機器を活用した出来形管理、遠隔現場・検査などを学ぶもので、県内からも参加実績があるという。知念氏は「助成金を活用して、負担を抑えることも可能」と述べ、ICTの人材育成に活用してほしいと呼びかけた。

続いて登壇した開成の大城竜一氏は、ICT土工の概要などについて説明。既存の建機にICT機能を提供するマシンガイダンスレトロフィットキットのシステムや使用事例などを紹介した。レトロフィットキットは、衛星アンテナをはじめ、建機の姿勢や加速度を計測するセンサー、コンントローラーなどで構成。位置データと建機の姿勢を解析し、タブレットにダウンロードしたデジタル工事図面と照合しながら作業を行うことができる。



セミナーでICT土工システムなどを紹介した



「Generation Survey One (GS-1)」

大城氏は「レトロフィットキットは丁張りを大幅に削減し、導入費用を大きく抑えながら従来型も含めた全ての建機がICT建機化できる」とメリットを強調した。